

施工要領書

製品名	着色透明塗料 屋外木材専用保護塗料	ランバーガード 外部用 (スコッチ・チーク・ウォールナット各色共通)
特 長		
<ul style="list-style-type: none"> ■塗膜性の着色透明塗料のため、木目を生かした仕上がりになります。 ■耐候性に優れ美観を維持します。 ■通気性の塗膜で木材が呼吸し、ひび割れを抑制します。 ■防水・防腐・防虫・変色抑制等の効果があります。 		
用 途		
■門・玄関周り・板掘・下見板・濡れ縁・ベランダ・破風板・木製遊具・デッキ・ログハウスなどの屋外木材保護及び汚れの抑制。		
標 準 塗 布 量		
必ず3回塗りしてください。		
標準塗布量(3回塗り)	5~6㎡/ℓ (180~200ml/㎡) ※塗布量は基材によって多少異なります。	
■1回目は木材に浸透するため全体の50~60%使用、2~3回目は塗膜を作りますので使用量は減ります。		
対 象 の 木 材		
<ul style="list-style-type: none"> ■含水率15%以下の木材。含水率が高いとランバーガード外部用は油性のため木材表層部に含浸しません。 ■カンナ仕上げ・サンダー仕上げなどをした表面がなめらかな木材。 		
使用に適さないケース		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 含水率の高い木材や丸太 塗膜にマイクロフィルターという呼吸孔があり水分を蒸発させる機能を持っていますが、含水率の高い木材・丸太に塗布した場合、塗料が木材に浸透しないまま塗膜を形成することで水分が内側に溜まり、塗布した年の冬の寒さで水分が凍結し膜を持ち上げ剥離することがあります。 2. あく洗いや旧塗膜の剥離作業の直後 あく洗いや木製製品の手直しなどの仕上げ塗料として使用する場合、汚れ落としや旧塗膜の除去に水を使用することがあり木材の含水率が高くなります。この場合、木材の乾燥時間を充分に取り含水率15%以下になってから塗布してください。また、梅雨や5℃以下の寒い日は作業しないでください。 3. 木材に薬剤が注入されている場合 防腐・防虫・防蟻・難燃剤などの薬剤を含浸させている場合は、『上記1.』と同じような結果を招きます。薬剤注入後、充分に養生乾燥させて含水率15%以下になってから塗布してください。 4. 旧塗膜や旧顔料が残っている場合 他社製の旧塗膜が剥がれて剥離処理後の仕上げ塗料として使用する場合、木材に旧顔料が残り、色が濃い目に仕上がりますので目立たない箇所を試し塗りをして色の確認をしてください。 5. 比重が非常に重い木材や油分が多い木材 比重が非常に重い木材や油分が多い木材は、塗布しても塗料が木材に浸透できず早期に剥離することがありますので使用しないでください。 		
※使用に適さない樹種		
ケンパス・ボンゴシ・ジャラ・イペ・チーク・ウリン・セランガンバツ・ウエスタンレッドシダーなど。		
【こんな時は…】		
<p>木材には白太(辺材)と赤味(芯材)があり、塗布後1~3年経過すると白太が黒くなる場合があります。これは白太部分にカビが発生するためです。この傾向は国産材特に杉・桧・松・ヒバなどに見られ、濡れ縁・ベランダ・デッキなど横使いのものに顕著に現れます。</p> <p>対処方法として黒くなってきた木部を年に1~2回ほど雑巾で拭き上げると浮かび出てきているカビはある程度取れます。</p>		
使 用 方 法		
<ol style="list-style-type: none"> ①色は樹種により多少変わりますのでご使用前に塗布する木材の木片に試し塗りをして色の確認をしてください。 ②施工面に汚れ・ゴミ・カビ・油分・ワックス等が付いているとランバーガード外部用の密着・浸透が悪くなりますので、充分に洗浄除去し、よく乾燥させてください。よく乾かないうちに塗布すると密着不良・変色・色ムラ等の原因となります。木材の含水率15%以下でご使用ください。 <p>※防腐・防虫・防蟻・難燃剤などの薬剤が注入されているケースの多くは含水率が高めです。含水率15%以下になってから塗布してください。</p>		

- ③木材表面にケバ立ちがあると色ムラになりますので、木材表面をサンドペーパー(#120~#180)でサンディングしてください。
- ④施工しない箇所や周辺基材を養生してください。
- ⑤乾いた布で塗布面の汚れをきれいに拭きとってください。
- ⑥顔料が沈殿しているため、ランバーガード外部用使用前に必ず攪拌機や棒等で良くかきまぜてからお使いください。また液表面に皮張りやゲル化が生じた場合は、使用前にそれらを完全に除去し充分にかきまぜてからお使いください。(必要に応じてろ過も行ってください。)
- ⑦ランバーガード外部用は粘性が強い腰の強い動物性のハケで木目に沿って薄く伸ばすように塗ってください。
※スプレー施工は絶対にしないでください。
- ※木材が着色されている場合、色が変化的なことがありますので試し塗りをして色の確認をしてください。
- ⑧1回塗りの乾燥時間は、20~24時間です。(計3回塗り)
季節(冬季)により乾燥時間が多少長くなります。
※塗布後24時間は水や雨がかからないようにしてください。

※塗布面が手アカ等で汚れているときは、弊社商品木材用洗剤『アクロン AB』の5~10倍希釈液で除去し、水拭き又は水洗いしてからランバーガード外部用を塗布してください。
※古家のあく洗い後にランバーガード外部用を塗布するときは、よく乾燥してからお使いください。

使用上の注意

- 揮発性の溶剤で、蒸気を吸引すると中毒を起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。
- ①ランバーガード外部用は引火性の物質です。必ずミヤキホームページの最新カタログ・施工要領書・使用上の注意・SDSをよく読み、作業する時は換気を良くして火気には充分注意してください。ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。基材や施工条件によってシミ・ムラ等が発生する場合がありますので、本施工前に同じ木材を用いて必ずテスト施工を行い施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。
 - ②エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。
 - ③加工基材(フローリング材等)には使用しないでください。浸透性の悪い木材では、白化を起こしたり本来の特性が出ないことがあります。
 - ④ランバーガード外部用は原液のままお使いください。水や異物が混入すると使用できなくなりますのでご注意ください。下記のような場合は、塗りムラ、密着不良や白化の原因になりますので、各要因を改善してから使用してください。

施工条件や施工環境上のトラブル原因	改善策一例
木材が十分に乾燥していない。	十分に乾燥させ、含水率15%以下になってから塗布してください。
梅雨時等で湿度が極端に高い。	左記のような環境下での施工はしないでください。
夏季の炎天下等で基材が40℃を超える。	施工する時間帯を調整する等の対策を施してから塗布してください。
気温が5℃以下の時や冬季の早朝など霜が降りる様な環境。	左記のような環境下での施工はしないでください。

- ※適切でない環境で施工された場合は、トラブルの原因となりますのでご注意ください。**
- ⑤作業に使用した機材、容器等は溶剤・シンナー等で十分に洗浄してください。
 - ⑥芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上ご使用ください。
 - ⑦作業をするときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。
 - ⑧必ず適切な保護具(ゴム手袋・保護メガネ・防毒マスク等)をお使いください。取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
 - ⑨口や目に入ったとき、手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをし、医師の診察を受けてください。
 - ⑩子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。保管状況によっては、液表面に皮張りやゲル化が生じることがありますので取り除いてからご使用ください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。容器から出すときは、こぼさないように注意し、一度別の容器等に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
 - ⑪用途以外には使わないでください。**施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。**

※作業員及び第三者の安全確保のために必ず適切な措置をとってください。
※排水・臭い・揮発性・植物等の環境への影響について事前確認の上、必ず適切な措置をとってください。
●製品改良のため、より適切に使用していただくため、予告なく内容を変更する場合があります。

性 状

カラー	スコッチ・チーク・ウォールナット	取り扱い	火気厳禁
溶 剤	第4類第二石油類 危険等級Ⅲ	貯蔵性	1年(5~30℃未開封状態で保管)